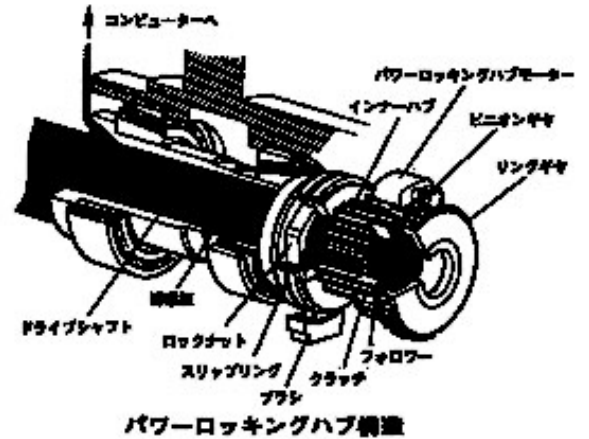
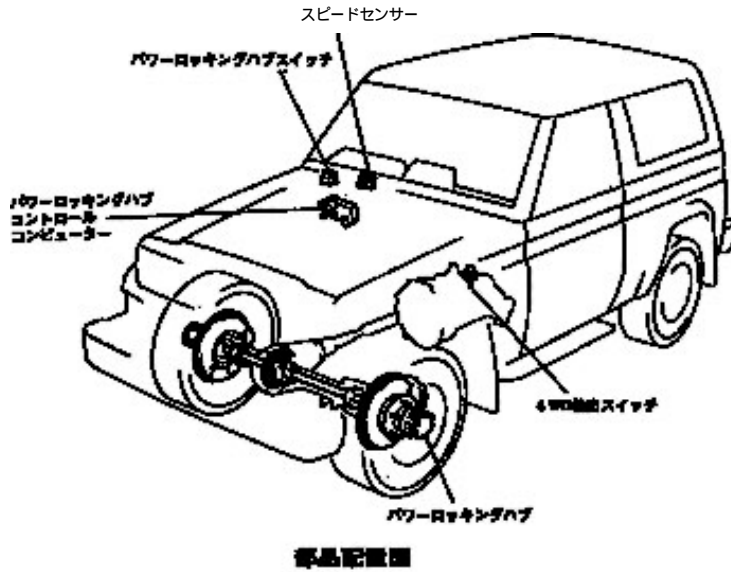


プラド パワーロックングハブの概要

従来のフリーホイールハブでは、ロックおよびフリーの切り替えを手動で行っていましたが、パワーロックングシステムは、運転席の操作スイッチにより電動で切り替えを行う装置です。



▶ 作動条件と作動

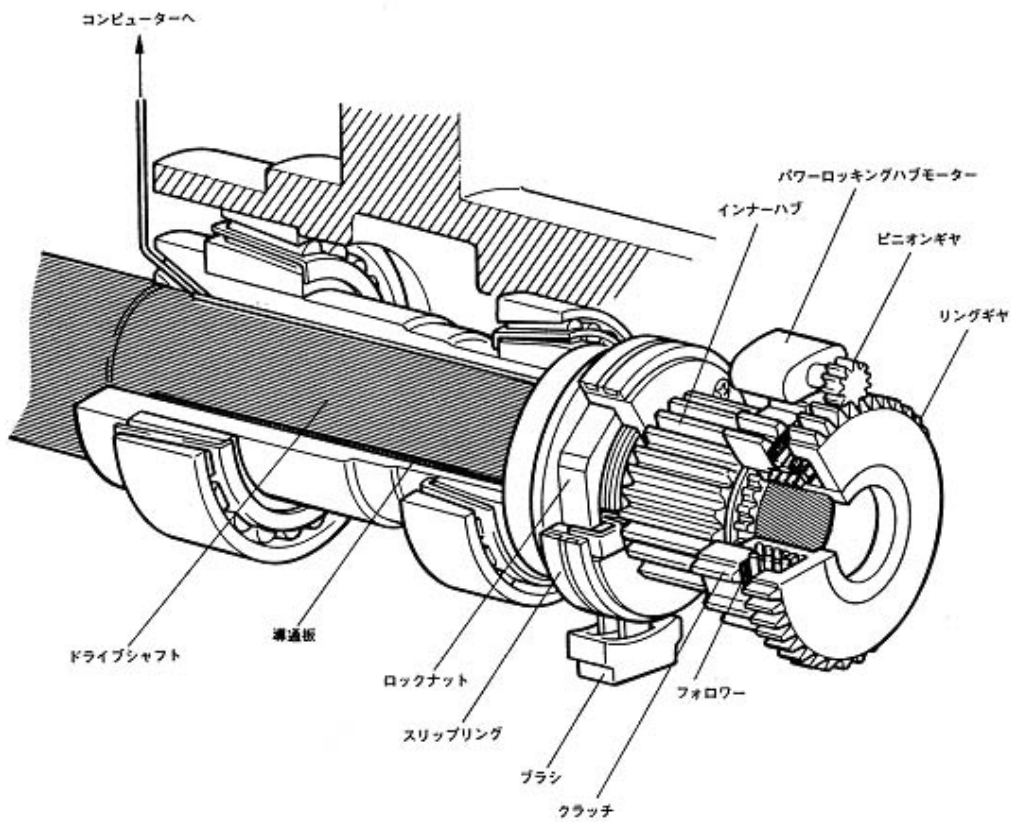
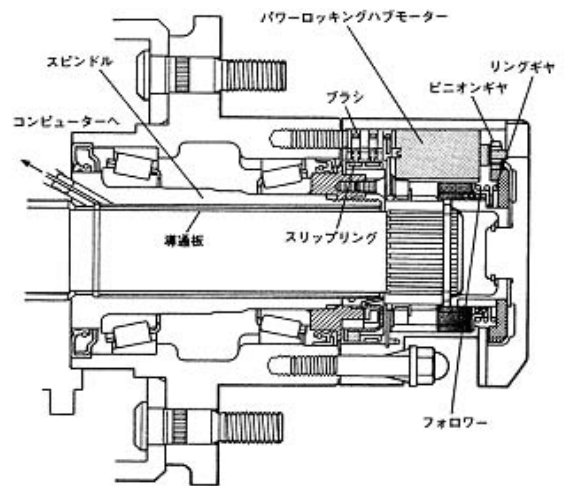
パワーロックングハブスイッチ	トランスファーレバー	ワンタッチ2-4セレクター	車速	パワーロックングハブモーター作動	パワーロックングハブインジケータ	走行状態	4WDインジケータ
ON (フリーロック)	H2	H2	8km/h未満	(作動)	(点灯)	2WD	× (消灯)
			* 8km/h以上	* × (作動せず)	* (点滅)	* 2WD	×
		H4	関係なし			4WD	(点灯)
			関係なし			4WD	
	L4	H2	関係なし			4WD	
			関係なし			4WD	
		H4	関係なし			4WD	
			関係なし			4WD	

* 2WD走行時で、車速が8km/h以上のときにパワーロックングハブスイッチを入れると、ロック機構保護のためインターロックが作用し、パワーロックングハブモーターが作動しません。
(インジケータが点滅し、インターロック状態であることを知らせます。)

* インターロックが作用したときには、車速が5km/h以下に落ちることでモーターが作動し、パワーロックングハブがロックします。

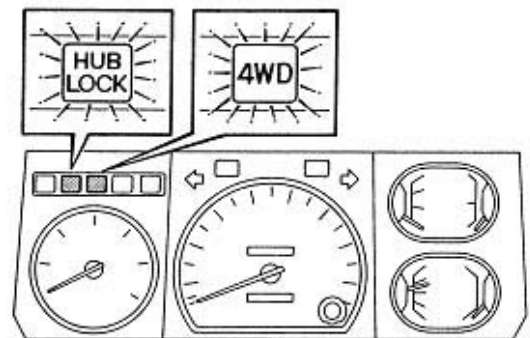
パワーロックングハブの構造と作動

- (1) コンピューターより作動電源が流れるとスピンドル内側の導通板を通してスリップリングに伝わります。さらにスリップリングに回転しながら接触しているブラシからモーターへと流れ、モーターを回転させます。
- (2) モーターによりピニオンギヤが回転し、リングギヤを回転させます。リングギヤの回転によりフォロワーが、クラッチを押し、インナーハブとかん合することで、ロック状態になります。



警告灯の表示方法

ハブロックインジケータおよび4WDインジケータは作動状態に応じて、点灯または点滅によりドライバーに知らせます。又、パワーロックングハブに異常が生じた時も、点滅で知らせます。



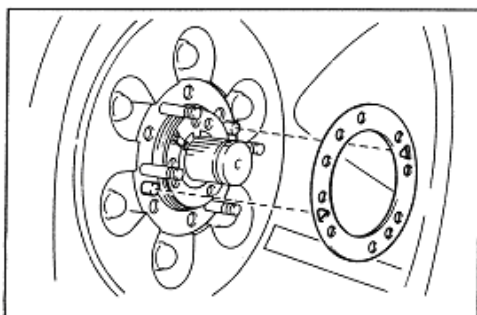
インジケータ点滅方法

パワーロックングハブに異常が発生した場合、右記の条件で各インジケータがイグニッションスイッチONの間、常時点滅して異常を警告します。

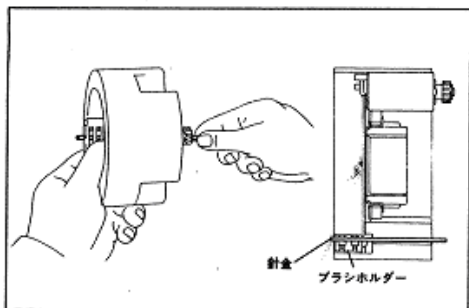
トランスファーH2時のインターロック時はハブロックインジケータが点滅します。

インジケータ	インジケータ点滅方法	
	インターロック時	パワーロックングハブ異常時
HUBLOCK		
4WD (H4, L4時)	—	

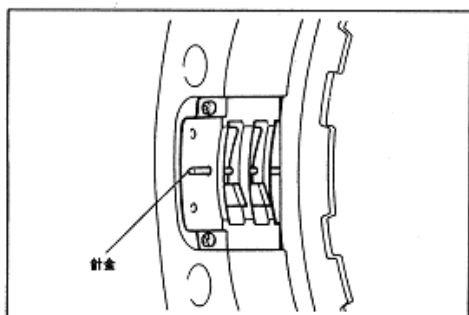
パワーロックングハブボデーサブASSY取り付け



- (1) アクスルハブのノックピン部に、新品のガスケットの三角の穴を合わせ、アクスルハブにガスケットを取り付ける。



- (2) ブラシをブラシホルダー内に押し込めた状態のまま、ハブボデーサービスホールから針金などをブラシホルダーの固定用ホールまで挿入しブラシを固定する。



- (3) ブラシがブラシホルダー内に固定されていることを確認する。